

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	カブシキガイシャアラウマザ			団体ウェブサイトURL
制作団体名	株式会社荒馬座			http://www.araumaza.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 金子満里			
制作団体所在地	〒	174-0053	最寄り駅(バス停)	都営地下鉄三田線本蓮沼駅
	東京都板橋区清水町81-4			
電話番号	03-3962-5942			
ふりがな	みんぞくかぶだん あらうまぎ			団体ウェブサイトURL
公演団体名	民族歌舞団荒馬座			http://www.araumaza.co.jp/
代表者職・氏名	代表 金子満里			
公演団体所在地	〒	174-0053	最寄り駅(バス停)	都営地下鉄三田線本蓮沼駅
	東京都板橋区清水町81-4			
制作団体 設立年月	1970年7月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:金子満里 取締役:浅井真美・岡宏司 監査役:狩野猛		役員3名 鑑査役1名 事務局1名 経理1名 常勤職員6名 非常勤職員6名	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く		本事業担当者名	岡宏司
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理責任者名	岡宏司

<p>制作団体沿革</p>	<p>1966年9月設立。1970年法人格取得。  1974年学校鑑賞教室公演開始。以降2020年まで30作品以上の民族芸能集作品を学校鑑賞教室・芸術鑑賞会で上演。  1978年以降、学校の先生を対象とした太鼓民舞教室開催。以来2022年まで延べ約42,000名の学校の先生・保育士を中心に太鼓民舞を普及する。  1986年 東京都新島村『式根島大漁太鼓』作調／1987年 福島県会津若松市『会津鶴ヶ城太鼓』作調  1991年 長野県生坂村『生坂龍翔太鼓』作調／1992年 三重県いなべ市(旧大安町)『大安寿太鼓』作調  1993年 日中国交正常化二十周年イベント・中国北京公演  1993年 鑑賞教室作品『どっこいふるさと生きている』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦指定  1995年 鑑賞教室作品『風のまつりー夢は野を越え山越えて』厚生大臣賞受賞  <b>※以下「別添」あり</b></p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1974年より首都圏を中心に小学校鑑賞教室、中学校・高校の芸術鑑賞会で上演。</li> <li>・1990年～2022年に首都圏各地の約1,700校(延べ数)の小学校の鑑賞教室で民族芸能集作品を上演。</li> <li>・1990年～2022年に首都圏各地の約150校(延べ数)中学校・高校の芸術鑑賞会で民族芸能集作品を上演。</li> <li>・2022年度「北区スクールコンサート」(「公益財団法人北区文化振興財団」事業)採択(5校実施)</li> <li>・2022年度「墨田区立小学校巡回公演事業(墨田区教育委員会)採択(5校実施)</li> <li>・2022年度「一般財団法人六行会」演劇鑑賞事業(東京都品川区)採択(2校実施)</li> <li>・東京都教育局「子どもを笑顔にするプロジェクト」鑑賞プログラム採択(小中特別支援学校11校実施)</li> <li>※2017～22年度小学校鑑賞教室公演104校(文化庁「巡回公演」以外)</li> <li>・公演と併行して「体験学習」「伝統文化体験学習」として、太鼓民舞体験のワークショップ、体験プログラムを小・中・高・大学の学校の授業の中で幅広く実施している。</li> </ul>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1990～2022年に首都圏各地の約220校の養護学校・特別支援学校の芸術鑑賞会で民族芸能集作品を上演。</li> <li>・山梨県長野県の各支援学校の依頼を受け、修学旅行(東京)の見学地のひとつとして「鑑賞会+体験ワークショップ」の企画を実施。</li> </ul>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="http://www.araumaza.co.jp/">http://www.araumaza.co.jp/</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>	
		<p>PW:</p>	<p></p>	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 民族歌舞団荒馬座 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	荒馬座民族芸能集『囃し囃され芸能広場』		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>荒馬座民族芸能集『囃し囃され芸能広場』 作/構成/演出/振付 宮河伸行(民族歌舞団荒馬座)</p> <p>【プログラム構成】エイサー/獅子舞/荒馬踊り/花笠おどり/傘踊り/虎舞/ソーラン節/ぶち合わせ太鼓 ※「ソーラン節」で代表の児童生徒に事前ワークショップ時に体験した太鼓の伴奏で共演してもらう</p> <p>働く人々の生活の喜怒哀楽の中から生まれ育まれてきた日本の太鼓や踊り・唄といった民族芸能で構成したプログラム。お祭りやハレの日の行事の中で披露される祭り芸能には、自然の恵みへの感謝、平安な暮らしや悪いことが起きないようにという人々の願いが込められています。時代は移り生活習慣は変わっても、力を合わせお互いに助け合い、まつり芸能のように囃し囃されながら、みんなが楽しく平和に豊かに暮らせる世の中でありたいという人々の願いは変わりません。日本の太鼓や踊り、唄や和楽器を素材に、各地に伝承・継承されている民俗芸能を舞台化し、今を生きるわたしたちの思いを芸能に込めて、未来の日本を担う子どもたちに楽しい踊りや唄や和楽器、太鼓囃子を届ける舞台です。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約60 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	○エイサー：沖縄の太鼓踊り/○獅子舞：江戸囃子にのって江戸の寿獅子/○荒馬踊り：東北地方の馬とハネトがペアで踊る駒踊り/○花笠おどり：山形の民謡「花笠音頭」で笠を換って豊作を願っての踊り/○傘踊り：鳥取(因幡)地方の雨乞いの踊り/○虎舞：三陸沿岸の漁師の踊り/○ソーラン節：北海道のニシン漁の踊り/○ぶち合わせ太鼓：三浦三崎の大漁を願って叩かれる太鼓囃子		
演目選択理由	<p>日本のお囃子は、笛・鉦・大太鼓・小太鼓のそれぞれを、みんなで呼吸を合わせて力を合わせてこそ人の心や身体を踊らせることができる。お囃子や踊りなどを通して、子どもたち自身にも表現する楽しさ、コミュニケーションする楽しさや喜び、日本の芸能の表現力、発信力を伝えたい。この作品を通して子どもたちの表現力・発想力・コミュニケーション能力の育成につなげたい。</p> <p>また、芸能には自然とともに生き、自然に感謝して生きてきた人々の思いが込められている。四季のはっきりしたこの日本で、四季の区切りごとにおまつりがありさまざまな芸能がおこなわれてきた。世の中が平和でありますように(天下太平)、みんなが健康で無事に暮らせますように(家内安全)、作物がたくさん実りますように(豊年満作)、悪いことが起きないように(厄除け厄払い)などなど、そんな人々の思いのあふれた日本各地で育まれ継承・発展してきたまつり芸能の魅力にふれて、子どもたちが改めてこの日本の文化や芸能、風土のすばらしさを見直すきっかけとしてほしい。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>・本公演の演目のひとつの「ソーラン節」で共演。太鼓の伴奏で参加してもらう。</p> <p>・代表の児童生徒に、事前ワークショップ時に練習した「ソーラン節」の太鼓の伴奏をしてもらい、その太鼓のリズムに乗って荒馬座の演技者が踊る。</p> <p>・客席の児童生徒には手拍子・かけ声などで参加してもらう。</p>		
出演者	<p>・宮河伸行(踊り、太鼓、唄) ・高荒珠江(篠笛、踊り、太鼓、三味線、三線、唄) ・長島敏治(踊り、太鼓、唄) ・中村志真(篠笛、踊り、太鼓、三味線、三線、唄) ・三浦直美(篠笛、踊り、太鼓、唄)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 0 名 合計: 5 名	運搬	積載量: 1,250 t 車長: 5.1 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:00	13:00～14:00	なし	14:00～16:00	16時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	16日	10日	5日	5日	16日	
	11月	12月	1月	計	100日	
	16日	16日	16日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	50名程度
		鑑賞人数目安	300名程度

▼設営した舞台の様子（画像は体育館の舞台使用）

体育館の舞台：間口約10m×奥行約5mを基準

フロア使用：間口約10m×奥行約7m

※児童数により横方向に設営することもあります

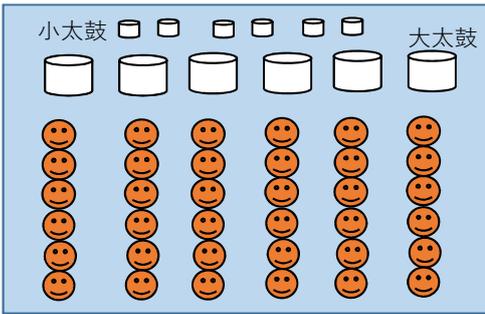


公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

▼沖縄の太鼓踊り「エイサー」 大漁を願って叩かれる太鼓囃子「ぶち合わせ太鼓」



児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1単位50名程度
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>—日本のリズム「和太鼓の体験」、日本の踊り「ソーラン節」の体験—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ソーラン節」体験: 本公演で取り上げる演目「ソーラン節」の踊りの基本の振りを体験</li> <li>・和太鼓体験: 太鼓の基本から「ソーラン節」の伴奏の太鼓を体験</li> </ul> <p>【導入】&lt;10分&gt; ※太鼓等の道具がセッティングしてある中、講師は「ソーラン節」の衣装を着けて児童生徒を迎える</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①講師(補助者)自己紹介</li> <li>②ワークショップの内容説明</li> <li>③「ソーラン節」実演(歌と太鼓にのって踊る)</li> <li>④基本の振りの説明</li> </ol> <p>【展開】&lt;20分&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①踊りの基本の振りの練習／・かんたんな構成の練習</li> <li>②和太鼓の体験: 太鼓の基本から「ソーラン節」の伴奏の太鼓の練習 和太鼓の基本、バチの持ち方・構え方から、「ソーラン節」の太鼓の伴奏</li> <li>③太鼓の伴奏に合わせて「ソーラン節」を踊る</li> </ol> <p>【まとめ】&lt;15分&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④グループに分かれてお互いに見合う</li> <li>⑤本公演の概要紹介</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの時間内に、大太鼓、小太鼓等にふれる時間をなるべく多く確保するために、楽器はある程度の数を用意する。学校に和太鼓があれば加えて使わせてもらう。</li> <li>・和太鼓の基本から、リズム遊びなど、自然にのれるものから興味を持たせながら、かんたんなお囃子まで仕上げしていく。</li> </ul>		
ワークショップの ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唄や太鼓のリズムにのって楽しく踊る体験をしてもらう。</li> <li>・日本のリズム、和太鼓の楽しさを体験してもらう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にふれる機会は多くはない和楽器の中でも、短い時間で音が出てかんたんな曲が演奏できる和太鼓の体験をすることで、和楽器・日本の伝統文化に親しんでもらい、本公演へと興味を上げたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本公演で取り上げる演目「ソーラン節」の基本の振りを踊り、伴奏の太鼓を体験することで、観客も公演に参加してともに公演を創るという意識付けも図りたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この体験ワークショップを経て、本公演で児童生徒の代表に「ソーラン節」の太鼓の伴奏をしてもらう。</li> </ul>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>対象人数によって1コマまたは2コマで実施</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①踊りは全体で</p> <p>②太鼓は交代しながら</p> <p>③太鼓の伴奏を交代しながら踊る</p> </div> </div>		

リンク先		【公演団体名	民族歌舞団荒馬座	】
制作団体沿革	<p>1995年 埼玉県児玉郡神川町『神川豊穰ばやし』作調            1995年 ベトナム親善公演(ハノイ・北部山岳地帯17ステージ)            1999年 鑑賞教室作品『母里のまつり森の詩』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定            2005年 鑑賞教室作品『大地のまつり水のうた』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定            2006年 バラグアイ親善公演(日本人移民70周年記念)            2008年 ブラジル親善公演(日本人移民百周年記念)国際交流基金助成事業            2009年 鑑賞教室作品『楽—明日への息吹』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定            2010年 鑑賞教室作品『明日へのまつり』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定            2019年 鑑賞教室作品『実り祈り命のまつり』厚労省社会保障審議会児童福祉文化財「特別推薦作品」「児童福祉文化賞推薦作品」</p>			